

●物品や器具を消毒する際のポイント

- ・消毒を行う際は、必ず換気を行いましょう。
- ・表面に汚れがついている場合は、消毒する前に汚れをおとしましょう。
- ・消毒の際には、汚れやウイルスを広げないように、一方向に向かって拭きます。
- ・ウイルスの種類によって、十分な効果が得られない消毒方法もあります。

	アルコール	次亜塩素酸ナトリウム	界面活性剤	熱水
新型コロナウイルス	○	○	○ 種類による	○
インフルエンザウイルス	○	○	○ 種類による	○
ノロウイルス	×	○	×	○

●アルコール

アルコール（エタノール）の濃度が、70%以上95%以下のエタノールを用いて拭きとります。（60%台のエタノールによる消毒でも、一定の効果があるとする報告もあります。）

※引火性がありますので、空中への噴霧は絶対にやめてください。

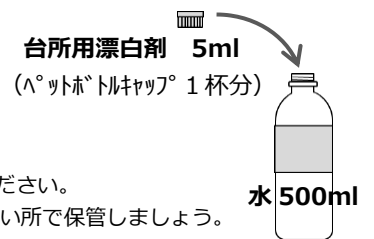
●次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）

市販の塩素系漂白剤を、主成分である「次亜塩素酸ナトリウム」の濃度が0.05%になるように薄めて、消毒液をつくることができます。（手指の消毒には、絶対に使用しないでください。）

【消毒液の作り方（台所用漂白剤（濃度5%）を使用する場合）】

- ①500mlの水に、台所用漂白剤の原液を、ペットボトルキャップ1杯分（5ml）入れて、良くかき混ぜる。
- ②清潔なふきんやペーパータオルにしみこませて拭く。

※商品によって有効成分の濃度が異なります。また、商品パッケージの注意事項を必ずご確認ください。  
 ※作り置きはせず、その都度使い切りましょう。保管の際は直射日光を避け、お子様の手の届かない所で保管しましょう。



●次亜塩素酸水 ※塩素系漂白剤を薄めてつくる「次亜塩素酸ナトリウム水溶液」とは異なります。

「次亜塩素酸」を主成分とする、酸性の溶液です。次の基準を満たした製品で、新型コロナウイルスへの有効性が認められています。

※表面の汚れ（手あか、油脂など）を除去し、対象物に対して十分な量を使用することが重要です。

次亜塩素酸水（電解型/非電解型）：有効塩素濃度 35ppm以上      ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム：有効塩素濃度 100ppm以上

拭き掃除には、有効塩素濃度 80ppm以上のものを使用してください。

●界面活性剤（家庭用洗剤）

市販の家庭用洗剤の主成分である「界面活洗剤」も一部有効性が認められています。

【台所用洗剤で、物品を消毒する方法】

- ① 500mlの水に、台所用洗剤を小さじ1杯（5g）入れて、良くかき混ぜる。
- ② 清潔なふきんやペーパータオルにしみこませて、液が垂れない程度に絞る。
- ③ 拭いたら5分待つ。その後、水拭きしてから、から拭きで仕上げる。

nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)HP



新型コロナウイルスに有効な界面活性剤が含まれている製品リスト

<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>

●熱水

食器類は熱水にさらすことで、ウイルスを死滅・不活性化させることができます。

新型コロナウイルス	80℃の熱水に10分さらす。
インフルエンザウイルス	56～60℃の熱水に30分さらす。
ノロウイルス	85℃以上の熱水に1分以上さらす。